隔週金曜掲載

わかつく 和歌山を創る新聞

Vol.82
2014.02.14

特定非営利活動法人
わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-424-2223　FAX 073-423-8355
E-mail info@wnc.jp　URL http://www.wnc.jp/
編集　志場 久起

NPO 基礎講座「NPO ってなに？」
【和歌山会場】
3 月 7 日（金）19:00 ～ 20:30
和歌山ビッグ愛 9 階会議室 B
参加費：300 円（資料代）
定員：10 名
詳しくは…
わかやま NPO 広場　検索

地元の人に知ってほしい和歌山の「たからもの」

地元の食材を通じて和歌山の素晴らしさを知ってもらいたい。そんな思いで活動している NPO 法人があります。設立から 1 年、大変な事もたくさんあったけど、みなさんの支えで頑張っている特定非営利活動法人 Blue Ocean for Children（B.O.C.）をご紹介します。

活動をはじめたきっかけは

ＢＯＣのメンバーが出会ったのは和歌山市内の旅行会社でした。

仕事内容は観光ガイドブックの作成や和歌山特産品を使ったイベントの開催等で和歌山観光の魅力を発信するというもの。理事長の福森さんが担当した和歌山の魚を使った親子魚料理教室は好評で、毎回すぐに定員いっぱいになるほどでした。しかし事業が終了し、今まで行ってきたイベントの継続ができなくなったとき、漁港のみなさんや、学校関係者等、それまで関わってきた多くの人たちから、事業を辞めないでほしいと声があがりました。

他のメンバーも同じ思いで、何とかして事業を続けられないかと話し合い、ＮＰＯ法人として事業を続けてゆくことを決心しました。

地元の良さに気付いてほしい

和歌山には学術的にも貴重な自然が沢山あります。そこでＢＯＣのメンバーは白浜町に地質と海の生物を観察に行く「ジオパークツアー」を開催しました。そのとき参加者のほとんどが大阪からだったそう。実は貴重な自然を求めて、多くの方が県外から和歌山を訪れていることがわかりました。

また県内の学校に出向き、魚を使った料理教室などの食育活動もしていますが、地元の特産物である魚をほとんどさばいた事がなく、切り身でしか見たことがないことを知りました。

冗談ではなく、切り身の状態で魚が泳いでいると思い込んでいる子どもさんもいるとか。「私も最初そうでしたが、和歌山で暮らしていると、貴重な自然や豊かな食材など身近なところにある宝物に気付かないんです」と福森さん。

そんな子どもたちに和歌山の食材の素晴らしさとはどんなものかを知ってもらう事が最初の一歩と考えています。

感動をもらうことで続けられる

法人を設立して１年、様々な事業に取り組まれてきたＢＯＣのみなさんですが、その活動のエネルギー源はなんでしょうか。福森さんは言います。

「私たちＢＯＣは和歌山の豊かで新鮮な食材や特産物、そして豊かな自然を、調理実習や体験学習等を行うことで、地域の方々と交流し、和歌山の素晴らしさをアピールしたいと思っています。その思いが活動のエネルギーになっているのは確かですが、例えば魚料理教室をした後、子どもたちから美味しかった、楽しかったという言葉や、感想文、歌などで、感謝いただくこと。結局はこういった感動の積み重ねが私たちの活動のエネルギーになっているのだと思います。」

お話をお聞きし、地元の方をはじめとする和歌山を愛する方との絆が、皆さんの活動を支えている事を強く感じました。今後も和歌山の魅力を引き出す事業を発信されることでしょう。（植田祐起代）

【写真】（左上）魚料理教室、（上）チリメンジャコに混ざった魚など「チリメンモンスター」を探すイベントの様子

■ 特定非営利活動法人 Blue Ocean for Children では共に活動してくれるボランティアを募集しています。◇ 各種料理教室でスタッフとしてお手伝いいただける方 ◇ 現在は一線を退いているものの過去に料理経験をお持ちで和歌山の食育に力を貸していただける方 ◇ 各種体験学習でお手伝いして下さる方 ◇ 体験学習を一緒に盛り上げていただける方など
【問合せ先】 特定非営利活動法人 Blue Ocean for Children
Tel・Fax　073-460-1001　E-mail　info@npo-boc.org　http://www.npo-boc.org/

みんなでつくる情報板
わかやまイベントボード

●リノベーションスクール@和歌山レクチャー見学
「リノベーションスクール」の講座をオブザーバーとして聴講できます。相談コーナーも。
日時　2 月 21 日（金）9:00 ～ 19:00（講座は 9:00 ～、13:00 ～）
場所　Wajima 本町ビル 1 階
講師　倉方俊輔さん、嶋田洋平さん
参加費　無料（当日受付、満席時は入場制限の場合あり）
申込み　NPO 法人市民の力わかやま（073-428-2688）

●田中光敏監督映画プロジェクトを語る
「エルトゥールル号」の映画のクランクインを間近に控え、田中監督から映画化に向けた話をうかがいます。
日時　2 月 22 日（土）14:00 ～ 16:00
場所　和歌山県 JA ビル 11 階・ABC ホール
内容　「エルトゥールル号」事故の概要の解説、田中監督の講演など
参加費　無料
定員　350 名
問い合わせ　NPO 法人エルトゥールルは世界を救う（メール　npo.ertugrul@gmail.com）

●知っておきたい奨学金制度
進学への準備をお考えの方、奨学金の利用の有無にかかわらず、制度を今のうちに把握しておきませんか。
日時　2 月 26 日（水）10:00 ～ 12:00
場所　アドバンス・コミュニケーションズ　セミナールーム
講師　秋山裕材さん（ファイナンシャルプランナー）
参加費　1000 円（事前申込必要）
問い合わせ・申込み　アドバンス・コミュニケーションズ（073-435-3704）

●まちなか百姓養成塾
プランターひとつから始められる家庭菜園をもっと楽しむために、まちなかで花や野菜のことを学びます。
日時　2 月 26 日（木）18:30 ～ 21:00
場所　和歌山市 NPO・ボランティアサロン（フォルテワジマ 6 階）
参加費　100 円（資材・苗など実費必要な場合あり、事前申込必要）
問い合わせ・申込み　わかやまイイネ！プロジェクト（メール　info@wakayamaiine.com）

このほかの情報もたくさん掲載！
「わかやまイベントボード」URL
PC 版　http://eventboard.shiminjuku.jp/
携帯電話版　http://eventboard.shiminjuku.jp/m/

JI-MO TIMES Vol.14

NPO の活動にもっと参加しよう！

公益財団法人わかやま地元力応援基金　監事 **志場久起さん**

原点

教員を目指して、教育学部がある和歌山大学に進学しました。当時は就職氷河期で、県内全体で小学校の採用枠が５人しかありませんでした。卒業後、大学院に進学し、学校教育以外にも社会教育や生涯学習という場があることを知り、研究を通じ、地域の課題を自分たちで考えること、自分たちで学び合える環境があることに関心を持ちました。

私が大学４年生のときにＮＰＯ法が制定され、02年7月に特定非営利活動法人わかやまＮＰＯセンターが設立。多くの友人が県外で就職する中、私は地元で就職する道を選び、学童保育の指導員などのアルバイトをしながら、事務局の体制づくりを進めることとなりました。

どうして監事になったのか

地元力財団の設立まで10年間、市民活動の現場を見てきた立場から、中間支援というのは漢方薬みたいな存在だと思っています。中間支援組織の役職員は、幅広い知識と興味関心が必要で、これから何年後かに地元の方から感謝される存在になってほしいと思います。また、わかやまＮＰＯセンターの理事でもあるので、地元力財団のやっていることが県内の市民活動団体のためになっているのかを確認し、ＮＰＯの現場のニーズを財団に伝える役割も担っているとも思っています。

財団とともに寄付を集める団体には、お金を回すマネジメントの力が必要で、事務局検定を実施するなどして支援できればと考えています。

メッセージ

行政批判を繰り返す市民を見ていると「もっと寛容になろうよ」と言いたくなる時があります。人間は失敗する生き物で、その失敗からの学びが大切ではないでしょうか。行政だけに地域課題の解決を任せていてはいけません。これから和歌山をもっと良くしていくには、県民やＮＰＯの協力が必要不可欠だと私は考えています。そのための参加の機会として、民間の公益活動の主体であるＮＰＯが果たす役割は大きいのではないでしょうか。

和歌山市在住
特定非営利活動法人わかやま NPO センター 理事

公益財団法人
わかやま地元力応援基金
640-8331
和歌山市美園町 5-6–12
Tel.073-428-0011　Fax.073-428-0012　URL www.jimotofund.com

取材：出原敬介
編集：児玉夏希